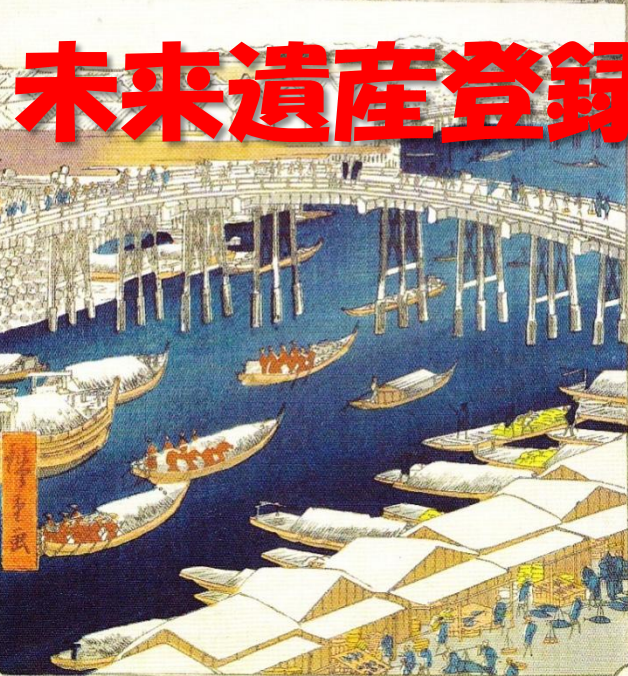
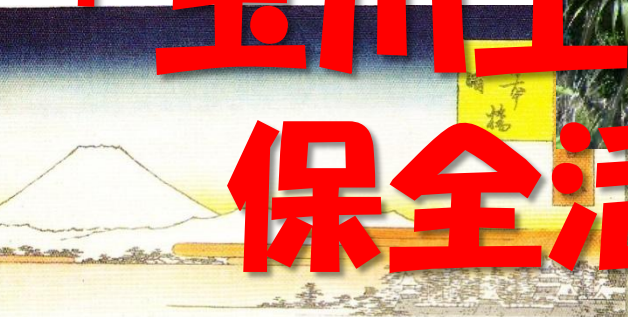




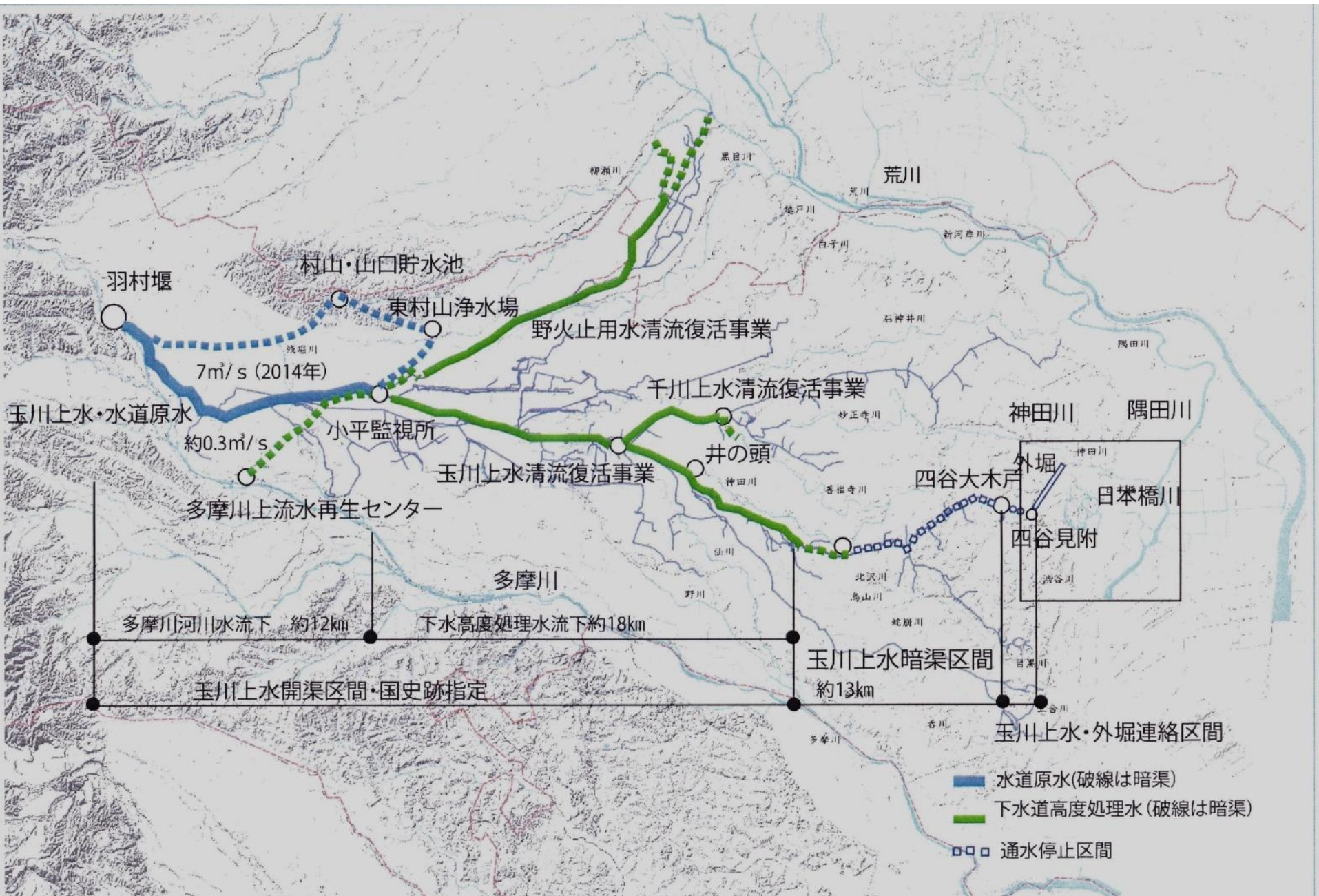
「玉川上水・分水網の 保全活用プロジェクト」

未来遺産登録から世界遺産を目指して

玉川上水ネット

R.6.11.20

玉川上水全図(辻野作成)



世界遺産登録を目指して



竹村公太郎氏
(日本水フォーラム)

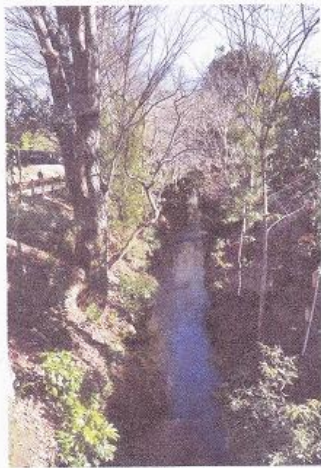
遺構100選展示会場

(東京都議会議事堂1階ギャラリー)

2024年11月15日～17日)

多摩

玉川上水 保全活動を評価



武蔵野市内を流れる玉川上水(28日、武蔵野市境で)

流域の市民団体など

玉川上水周辺の自然環境と文化の保全に取り組む市民団体などで作る「玉川上水ネット」(本部・立川市)の活動が、日本ユネスコ協会連盟の「プロジェクト未来遺産2016」(読売新聞)に選ばれ、武蔵野市内で28日、登録証の伝達式が行われた。都内からの登録は、同プロジェクトの流域で独自に水辺の環境保全活動などをしてい

「プロジェクト未来遺産」に

クトが始まった2009年以降、4件目となる。玉川上水は、江戸時代に飲み水を確保するために作られた、羽村市から都心部に向かって続く約40kmの水

立川市 042-8540
042-523 4477
tatechikawa@yomiuri.co.jp
八王子市 042-844 9701
日支局 94-0021
町田市中区 042-723 3661
中支局 83-0026
042-351 4141
0428-21-4015
042-551 0540
042-392-1121
www.yomiuri.co.jp/local/

0120-4343-81

042-524-0435
0120-03-4343
042-523-1491

1月30日(月曜日)
旧 1月3日<先登>

通日 30
月齢 2.1
(正午)
—東京標準—
満潮 6.52
出日 6.43
入日 17.06
出日 7.58
入日 19.23
(大潮)

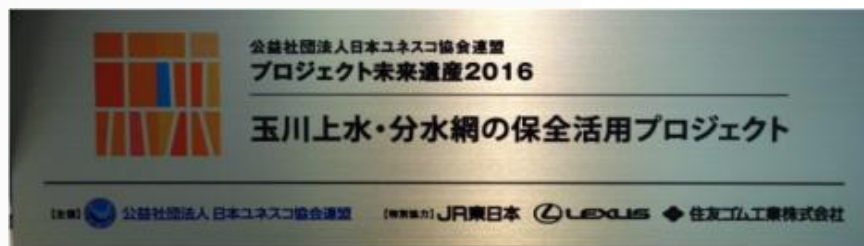
登録証を受け取った同ネットの柴俊男代表は、「これまででの活動を総括するよい機会になった。メンバーたちと更に協力を深めていきたい」と述べた。玉川上水の文化遺産への登録を目標に、今後も活動を続けるという。

USO放送
高年齢者年齢直しへ
若者年齢も
「カベ50歳」リリー
(金沢)

うと、11年に設立された。今月28日時点で23団体6個人が参加、子供向けの自然観察会や、ホタルの人工飼育なども手がけている。15年16年には、玉川上水の現在の環境を上流から歩いて記録する「リレーウォーク」にも取り組んだ。伝達式では、選考に関わった土屋誠・琉球大名教授が、同ネットについて、次世代の育成に力を入れていく、江戸時代から続く水辺の多様な文化を残そうと



登録証を受け取る柴代表(左)



プロジェクト未来遺産「登録証伝達式」
主催:日本ユネスコ協会連盟 会場:武蔵野スイングホール(2017.1.28)

100年後の子供たちのために



立川2小3年、ヤゴ救出大作戦



立川若葉台小4年、環境学習



立川柏小3年、ホタルの幼虫放流



立川上砂川小5年、玉川上水清掃





(会場)六本木ヒルズ
ハリウッドプラザ・ハリ
ウッドホール(2015.5.26)

参加クラブ会長



Rotary2750

「東京の水文化を守るフォーラム」

玉川上水・分水網を世界遺産・未来遺産へ

第1回シンポジウム

(会場: 武蔵野スイングホール
2015.5.29)



玉川上水と分水網



玉川上水の緑の回廊(小金井市～小平市)
(東京新聞2015.6.1より)

玉川上水・分水網上下流連携総括シンポジウム

【会場】

銀座ブロッサム ホール

主催:

玉川上水・分水生かした水循環都市東京連絡会

共催:

中央区 日本橋水辺再生研究会

外濠再生懇談会 玉川上水ネット

後援:

東京都 国土交通省

内閣官房水循環政策本部事務局

プログラム

【基調講演】

・「江戸文化と玉川上水」

法政大学前総長 田中 優子先生

・「江戸東京の水まわり」

作家門井慶喜先生

・「玉川上水上下流を中心とした東京の水循環」

中央大学研究開発機構教授 山田 正

【パネルディスカッション】

通水実現に向けての展望「夢のある東京の水辺づくり」

・コーディネーター: 水文・水資源学会長

沖 大幹 先生(東京大学教授)

・東京都の取り組みについて

東京都都市整備局技監 湯川雅機様

・沿川市区長からの未来への想い

沿川市区長からのメッセージを紹介

・夢のある東京の水辺づくりについてディスカッション

▼講演



田中優子先生



門井慶喜先生



山田 正教授

▼夢のある東京の水辺づくりについてディスカッション



▼夢のある東京の水辺づくり(玉川上水・分水網・外濠・日本橋川) 沿川市区長からのメッセージ(敬称略)

▶『さくら咲く 玉川上水 伝えきて伝えゆく清き流れよ
羽村堰築いた人の ころざし胸にきざみ このうわしき
わがふるさとに 羽搏きのいのち育む われらが羽村』
羽村市の歌「このふるさとに」より 羽村市長 橋本弘山

▶『ふれあいつながる さわやかな 緑と水の福生』

宣言(案)

玉川上水分水網を生かした水循環都市東京連絡会は以

水の都へ玉川上水復活

都が2040年までの都政の基本方針として策定を進めている長期計画に、江戸期に造られた水道「玉川上水」を活用した皇居(千代田区)の外濠浄化事業が盛り込まれることがわかった。読売新聞のインタビューに応じた小池知事は「玉川上水を復活させて、東京に江戸の情緒を取り戻したい」と語り、事業の意義を強調した。



小池知事インタビュー

玉川上水は多摩川から江戸市中に水を供給するため、幕府が

◆小池都政の主な実績

- ・就任以降、待機児童が5000人減
- ・高齢運転者の事故防止装置に補助制度
- ・国の基準を上回る受動喫煙防止条例
- ・虐待防止条例に保護者の体罰禁止を明記
- ・情報公開時の閲覧手数料を廃止
- ・無電柱化の推進を条例化

約43キロメートルにわたって造成。かつては外濠や内濠にも流れ込み、「水の都」の景観づくりに一役買っていた。その後、上水道の整備などによって水の流れが絶え、外濠などでは水質の悪化による藻の発生や悪臭が問題となった。

都は新たな水源の確保や玉川上水の改修、導水管の整備を通じた清流の復活を長期計画の中心に位置づける考えで、小池知

「江戸情緒取り戻す」

皇居外濠浄化

事は「長い事業となるが、よみがえった玉川上水によって外濠がきれいになっていく。夢のあるものだ」と語った。

◇ 小池知事はインタビューで、3年半に及ぶ任期を振り返った上で、①子育て支援施策の推進で四半世紀ぶりの低水準となった待機児童数②都民や大学研究者からの施策提案制度導入③情報公開制度の改善などを通じて都政の「見える化」——などを成果として掲げた。

その上で、小池知事は任期最終盤に迎える来夏の東京五輪・パラリンピックの成功に全力を挙げる考えを示した。特にパラリンピックについて「客席を埋め尽くし、東京の社会の成熟度を示したい」として、より重視する姿勢を明確にした。

五輪の開幕直前に行われる都知事選への対応については、「東京にとって大事な時期なので、知事として日々まい進したい」とし、明言を避けた。

③ グリーン&デジタル

外濠浄化の推進を契機として「水の都」東京を甦らせる

戦略13
水と緑 ver.up

- 長期的には、玉川上水の水を元の多摩川から引き、本来の玉川上水の姿に甦らせる可能性を展望
- 当面は、外濠への必要な導水量を確保するための水源・水量の確保及び暗渠区間の改良や導水路の整備に着手するとともに、玉川上水の調査等の実施や多様な主体との協働に関する方策を検討
- 歴史的財産である外濠の水質改善を進め、都心で働く人々に癒しの場を提供するとともに、品格ある景観を形成し、魅力あるまちづくりへとつなげる



具体的な取組（主要）	2021年度末 （見込み）	年次計画		
		2022年度	2023年度	2024年度
人々が憩う外濠の水辺再生	詳細調査・基本計画検討※1	必要となる施設の基本設計・詳細設計	基本設計・詳細設計・工事施工など	
多摩川からの通水の可能性の展望		玉川上水の構造物健全度調査等		
雨水流入対策※2	累計150万m ³	1万m ³ （累計151万m ³ ）	19万m ³ （累計170万m ³ ）	-

※1：玉川上水暗渠部等の活用可能な既設水路や導水施設の新設が必要となる区間の調査・検討 ※2：降雨初期の特に汚れた下水を貯留する施設等の整備、ただし、貯留量は区部における累計値を示す

いままでも、これからも。

もっと! 安心で、活力あふれるまちへ

スマートシティ

《物価高・文化・観光等》

- 防犯カメラの設置拡大や防犯機器助成
- 熱中症から命を守る暑さ対策の推進
- 世界をリードする脱炭素の取組み加速
- 手軽な価格で住める「アフォーダブル住宅」推進
- シルバーパスの改善
- 江戸・東京の文化を世界遺産に
- 水の都の再生
- ナイトタイムエコノミーの推進で観光振興の更なる加速
- 世界陸上・デフリンピックの成功
- 新たな文化芸術祭の開催

もっと! よくなる!
**東京
大改革
3.0**



世界遺産の魅力

～玉川上水の可能性～



1972年ユネスコによって制定された世界遺産条約は、今では世界中に1200の文化、自然、複合遺産が認定され、そのうち日本には25がある(2024年1月現在)。今回の講演では、世界遺産の魅力、そして玉川上水を世界遺産に登録するための取り組みや条件について、参加者と一緒に考える。

とき：2024年

7月13日(土)

午後2時～3時45分

(午後1時40分開場)

ところ：**武蔵野プレイス**

武蔵野市境南町2-3-18

(JR武蔵境駅南口 徒歩1分)



講師：山下 邦明氏

上智大学国際協力人材育成

センターアドバイザー 元ユネスコ職員(本部・パリ)

世界遺産登録を目指して



竹村公太郎氏
(日本水フォーラム)

遺構100選展示会場
(東京都議会議事堂1階ギャラリー
2024年11月15日～17日)

